

# 日本と世界のお祭りリズムで楽しもう

( 5 時間扱い )

## 1. 題材のねらい

音楽を特徴付けるリズムや旋律，音色のおもしろさを感じ取りながら，聴いたり表現を工夫したりすることができるようにする。

## 2. 教材について

小学校学習指導要領  
< 第 3・4 学年の内容との関連 >

### ( 1 ) 世界のリズム ( サンバ他 )

A ( 3 ) イ

A ( 4 ) ア

B ( 1 ) ア

B ( 1 ) ウ

世界の様々なお祭りリズムや民族楽器の音色を生かした演奏を聴き比べる教材。

それぞれの演奏に使われている楽器，リズムパターン，音色の組み合わせのおもしろさなどを感じ取って聴いたり，曲に合うリズム伴奏づくり，合奏に生かしたりしながら音の組み合わせを工夫させたい。

### ( 2 ) 日本のお囃子 ( 楽器 )

A ( 3 ) イ

A ( 4 ) ア

B ( 1 ) ア

B ( 1 ) ウ

日本各地には古くから伝えられる独自のお囃子がある。これらのお囃子は「祭り」を飾る音として重視され，保存会などによって今に受け継がれている。祭り囃子の音は，日常子どもたちが音楽の授業で接している音とは全く趣が違っている。お囃子の音や，使われている楽器などを想像しながら聴かせ，独自の響きを味わわせるようにしたい。

### ( 3 ) いろんな木の実 作詞 中山知子 / 西インド諸島民謡

A ( 1 ) ア

A ( 2 ) イ

A ( 3 ) イ

A ( 4 ) ア

南国に豊かに実る木の実や果実をユーモラスに描いた歌詞が付けられており，それがリズムミカルな曲調によく合って，歌う楽しみを味わせてくれる曲である。拍の流れを感じながら歌う活動をし，この拍子と拍の流れをもとに，リズム伴奏を工夫する活動へと展開していくことができる。また，この教材は前半・後半部と中間部の曲想が違い，その曲想を生かしたリズム伴奏を工夫する活動へと学習を展開していくようにする。

	ア 音楽への 関心・意欲・態度	イ 音楽的な 感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材の 評価 規準	<p>いろいろな楽器の音の特徴や音色の違いに興味をもって、進んで聴いたり表現しようとしていたりしている。</p>	<p>世界の民族音楽や日本古来のお囃子に使われている楽器の特徴、音色の違いを感じ取りながら、それを生かした表現をしたり、曲想の違いに気を付けながら歌い方やリズム伴奏を工夫したりしている。</p>	<p>音楽の流れにのった読譜に親しみ、旋律楽器の基本的な演奏技能を身に付け、主旋律や副次的な旋律を演奏するとともに簡単な合奏やアンサンブルの中で、楽器のもつ固有の音色や美しい響きを生かして演奏している。</p>	<p>世界の民族音楽や日本古来のお囃子の特徴を感じ取り、演奏に使われている様々な打楽器の音色の違いに気を付けて聴いている。</p>
学習 活動 にお ける 具体 の評 価 規 準	<p>様々な打楽器の音色の違いや特徴に関心をもち、進んで聴いたり表現したりしている。</p> <p>様々な打楽器の音色の違いを自分の言葉で発表 音色の違いと楽器の材料の違いを結びつけて考えている 進んで様々な打楽器を視奏 楽器にじっくり取り組む 積極的にリズムをつくって表現したり、音の組み合わせを工夫しようとしていたりしている。</p> <p>進んでリズムパターンをつくる 音色の響きの違いに気を付けながら、楽器の組み合わせを工夫 よい響きの組合せのよさをたくさん見つけ、学習カードに記入 斉唱や簡単な合唱などによる歌唱表現に関心をもち、進んで歌おうとしている。</p> <p>常に発声や発音、姿勢などに注意 積極的に友達にアドバイス よりよい表現に近づけるよう繰り返し練習 グループ活動がスムーズになるような働きかけ</p>	<p>それぞれの楽器の音色の違いに気付いて聴いたり、音色を生かした表現方法を工夫したりしている。</p> <p>音色の違いを自分の言葉で表現 音色の響きの違いに気付いて、いろいろな楽器を繰り返し演奏 互いに工夫してつくった音や音楽を発表し合い、そのよさを感じ取っている。</p> <p>友達のつくった音や音楽のよさをたくさん見つけて、学習カードに記入、発表 進んで友達にさらによくするためのアドバイス 曲想の違いを感じ取りリズム伴奏や演奏の仕方を工夫している。</p> <p>曲想の変化を生かしたリズム伴奏を入れて 楽曲の構成を考えたリズムの入れ方 曲想、曲想の変化を生かした楽器選択</p>	<p>曲想を生かした様々なリズムパターンや音の組合せを工夫して表現している。</p> <p>いろいろなリズムパターンを考え、試している 音の強弱をつけ 変化のあるリズムパターンやリズム伴奏を演奏 リズムに合わせた身体表現の工夫 範唱を聴いて、リズムや旋律の流れなどを生かした豊かな表現を生かして二部合唱している。</p> <p>友達の歌声に耳を傾け、常に他のパートと合わせようとする。 リズムの違いを感じ取って表現に生かす。 歌に合わせて、副次的な旋律・リズムを、旋律楽器や打楽器を使って演奏することができる。</p> <p>曲想に合わせた楽器を選択し、楽器の音色や響きを生かした演奏 自分たちの演奏をよく聴いて、グループ活動を積極的に推進</p>	<p>楽曲の曲想やその変化を感じ取りながら、お祭りの様子を想像豊かに聴く。</p> <p>お祭りの様子を思い浮かべ、表情豊かに聴いている 曲想やその変化、リズムに合わせて、身体表現 楽器と声の組合せによって生まれる響きや効果を感じ取っている 民族楽器や和楽器の特徴を感じ取り、使われている楽器の音色の違いに気を付けて聴くことができる。</p> <p>民族楽器や和楽器の特徴を多数発表したり、学習カードに記入 音色の響きの違いを自分の言葉で表現 音楽を特徴付けている楽器やリズム、旋律、強弱などに気を付けて聴く</p>

	学習活動	具体の 評価規準	指導要領と の 関連	内容の まとめり				評価方法
				歌 唱	器 楽	創 作	鑑 賞	
1	<p>世界のお祭りリズムを聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの演奏は、どの国のものなのかを知り、楽器の音色の響きに気を付けてどんな場で演奏されているかなど、お祭りの場面を想像しながら聴く。</li> <li>世界のお祭りの音楽を聴き(インドネシア・ブラジル、アフリカ)、楽器の音色やリズムの特徴の違いを聴き比べ、感想を発表し合う。</li> <li>使われていた楽器のいくつかの音を実際に出し、音色の違いや奏法について気付いたことを鑑賞カードに記入する。</li> </ul>	エ -	B(1)ア					行動観察 身体反応 身体表現 発表 鑑賞カード
2	<p>いろんな地方のお囃子を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の2つの地方のお囃子を聴き、どんな楽器が使われているかに気を付けて聴く。</li> <li>「世界のお祭りリズム」で使われていた楽器やリズムをふり返りながら、お祭りの場面の様子がどう違うか、発表し合ったり学習カードに記入したりする。</li> <li>お囃子に使われていた楽器を実際に演奏し(長胴太鼓、締め太鼓、あたり金)、音色の響きの違いや演奏の仕方で気付いたことなどを発表し合う。</li> </ul>	エ - エ - イ -	B(1)ウ B(1)ア A(3)イ					行動観察 学習カード 発表
3	<p>自分なりのリズムパターンを工夫して、「お祭りリズム」をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>簡単なリズムパターンを使って、ラテン楽器や和楽器の音色を生かしたお祭りリズムをつくって楽しむ。</li> <li>グループに分かれて、自分なりのリズムパターンを工夫し合い、サンバやお囃子のリズムを発展させる。</li> <li>リズムを組み合わせて、音楽に合わせて演奏する。</li> <li>互いにつくった音や音楽を発表し合い、よさを見つけ合う。</li> </ul>	ア - ウ - イ -	A(4)ア A(4)ア A(4)ア					行動観察 学習カード 演奏発表 身体表現 発言 (グループ)

4	<p>旋律の特徴を感じ取って歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いろんな木の実」のCDの演奏から、前半・後半部と中間部の2つの曲想や旋律の特徴について気付いたことを発表し合う。</li> <li>・気付いたことを生かしながら、友達と声をそろえて、伸び伸びと主旋律を歌う。</li> <li>・低音部を全員で歌ったり交互唱したりしながら覚える。</li> <li>・希望でパートを決め、二部合唱の練習をし、二つの音の重なりを感じ取りながら旋律の特徴を生かした歌い方を工夫する。</li> </ul>	イ -	A(2)イ					<p>行動観察 発表 歌唱聴取</p>
5	<p>リズム伴奏を加えて歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前後半部と中間部の曲想に合った楽器を選び、リズム伴奏や簡単な伴奏をつくる。</li> <li>・二つのリズムや楽器の組み合わせ方や始まり方、終わり方を工夫し、全体を仕上げる。</li> <li>・歌とリズム伴奏のグループに分かれて、それぞれの曲想の違いに気付いて、のびのびと歌ったり、リズムカルに演奏したりする。</li> <li>・互いに発表したり鑑賞したりしながら、よさを見つけ合う。</li> </ul>	ウ -	A(4)ア					<p>行動観察 学習カード 演奏発表 演奏聴取 発表</p>
		イ -	A(2)イ					
		ウ -	A(3)イ					